

事前評価集計表

事務事業名称	健康長寿応援事業
評価項目	指摘事項
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ●青森県は短命県としてのレッテルを貼られ、現在、県を上げて短命県返上に取り組んでいる中にあり、十和田市がこのような事業に取り組むことは妥当である。 ●健康寿命を延ばすことを目的とした事業であり、本人のQOL(生活の質)の改善、結果的には医療費の削減にも繋がり、妥当性は高い。 ●短命県返上を目指す青森県も種々の施策や事業を積極的に展開しているところであり、市としても重要課題として取り組むことは妥当である。 ●健康長寿社会を目指すためには、無関心層への働きかけが必要であり、当初は行政が主導し形を作っていくことは妥当である。 ●短命県返上策としては妥当である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ●個人個人が健康を維持していく上の事業であり、十和田市が開催する事業への参加は大変有効だと思う。また、健康でいることで、病院の世話にならなくなれば医療費の縮小にも繋がるので、事業は有効と考える。 ●単発的なプロジェクトから始まっているが、毎日の健康管理に発展するような啓蒙活動となることが望まれる。 ●いつまでも元気で長く暮らしたい、は市民誰もが願うことであり本事業の有効性は高い。 ●健康を維持するためには1回、2回参加すればよいということではなく継続が必要。この事業はきっかけづくりにはなるが、継続することへの働きかけ・工夫という点では一考を要する。 ●事業費が少なく、有効性に乏しい。 ●成果はすぐ出るものではなく、3～5年継続することで周知されていくと思う。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ●効率性のある事業だと思うので、出来れば継続してほしい。市の事業の継続が難しいようであれば、他団体への後援とかを考えてみても良いのではないかな。 ●事業内容については計画に沿ったもので、その成果からも、それなりの効率性は認められる。 ●全市を網羅し、全市民を対象とした事業であり効率が高い。 ●類似事業とはそれぞれ目的が違うため一緒にできないだろうが、年間予定を年度当初に出してもらえれば、自分の予定をどれかに合わせて参加しようとすることは可能になると思う。その際、共有できるコースや看板があればコストの削減にもなるし、市民もなじみが出て参加しやすくなるのではないかな。 ●健康都市宣言、エンジョイウォーク、ポイントラリー等に対する市民認識を拡大することが必要ではないかな。元気アップル体操等導入してはどうか。 ●ポイントラリーの景品はいらなと思う。様々な行事に楽しく参加できて、参加した方々と会話ができ、達成感が感じられる事業内容になればいいと思う。
公平性	<ul style="list-style-type: none"> ●参加者は、今のところ少ないかも知れないが、継続することで、この事業が個人にとって有効であることを参加した方々の口コミや宣伝等で参加者も増えるのではないかな。また、各団体等の新聞への掲載もお願いしながらPR出来ると思う。 ●市民への情報発信がなされており、公正性は担保されている。 ●市民対象であり、問題ない。 ●多くの人の参加を望むなら、育児の人の為に子どもの預り所を作ったり、親子コースを作る、軽度の介助が必要な人にボランティアを付けて専用コースを設けたりするなどしても良いと思う。対象を高齢者にするならば、今のままでも良いと思う。
事業の方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/>さらに重点化を図る(3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大変良い事業なので、参加者を増やすための工夫をしたらよと思う。また、他団体等との連携も考えても良いのでは。 ●自分の健康は自分で守るという使命のもとに推進してもらいたい。 <p><input type="checkbox"/>現状のまま継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>有効性を改善して継続(2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単発プロジェクトでは無く、ウォーキング環境整備、保健師・看護師の専門知識を反映したプロジェクト企画など、発展性が高い事業であり、更なる改善と継続が望まれる。 ●きっかけづくりとしては良い事業だが、日々の運動の継続の為に工夫が必要と思われる。また、声かけ、誘いあいの工夫があるともう少し参加者が増えるのではないかな。 <p><input checked="" type="checkbox"/>効率性を改善して継続(1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業を継続して周知されたら、内容を充実して子どもから高齢者まで何時でも参加できる環境作りが大切だと思う。 <p><input type="checkbox"/>公平性を改善して継続</p> <p><input type="checkbox"/>事務事業の統廃合を図る</p> <p><input type="checkbox"/>休止</p> <p><input type="checkbox"/>廃止</p>
その他、質問・提言等 (活動指標、成果指標の設定の仕方について等)	
<ul style="list-style-type: none"> ●官庁街通りや稲生川歩道へ目標となる掲示板等(例えば、官庁街入口から市役所まで何mとか、官庁街通り一週何kmとか)の設置を考えていただき、ジョギング熱を高めることも良いと思う。 ●対象をもう少し明確にした方が良いと思う。 ●歩くことは誰でも簡単にできることなので、シューズの選び方や歩き方の指導をすることも必要だと思う。 ●図書館、美術館等を巡ることをポイント対象とすると家族連れには楽しく参加できるのでは。 	